

【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

≪無断転載禁止≫

レジメン番号： SCLC-101

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐 リスク	根拠
小細胞 肺がん	CBDCA+ETP	21日間	4～6コース	<input checked="" type="checkbox"/> 進行/再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 放射線併用化学療法 <input type="checkbox"/> その他	高	Br J Cancer 97: 162-9, 2007 Ann Oncol 5: 601-7, 1994

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	Day																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
①	デキサート アロカリス パロノセトロン	6.6mg 235mg 0.75mg/50mL	点滴静注	30分	↓																				
	デキサート 生理食塩液	6.6mg 50mL	点滴静注	30分		↓	↓																		
②	エトポシド 5%ブドウ糖液	100mg/m ² 500mL	点滴静注	60分	↓	↓	↓																		
③	カルボプラチン 5%ブドウ糖液	AUC 5 250mL	点滴静注	60分	↓																				
④	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓	↓	↓																		

＜注意事項/備考＞

- ✓ 【注意】高齢者の場合：ETP 80mg/m²、CBDCA AUC 5とする
- ✓ ETP：調製時間に注意（調製後、長時間放置にて結晶析出）
- ✓ CBDCA：投与回数を重ねると、ショック、アナフィラキシー様症状の発現頻度が高くなる傾向（8コース前後）
- ✓ CBDCA：腎機能障害に注意。アミノグリコシド系抗菌薬の併用でリスク増大





